

# 『元気なモノ作り中小企業300社2007年版』 のとりまとめについて

- 中小企業庁 -

中小企業は、高度なモノ作り技術により我が国産業の国際競争力を支える経済活力の源泉となっています。

また、モノ作りにより地域経済を支えながら内外の市場で活躍する企業、意匠やデザインにより新規分野を開拓している中小企業が日本の活力を生み出しています。

普段は目に触れにくい重要な役割を果たしているモノ作り中小企業の姿を、広く国民に対してわかりやすく示すことにより、これら中小企業のやる気を一層引き出すとともに、若年層を中心にモノ作り分野に対する関心を持つきっかけとなることを願い、昨年引き続き、「元気なモノ作り中小企業300社2007年版」を取りまとめました。

## 300社のプロフィール

世界規模の市場において高いシェアを有する製品を作っているもの

...製品がそのまま世界に流通する企業 54社

国内市場を中心に高いシェアを持つ製品を製造しているもの

...取引先の高度な注文に応え、市場で評価されている企業 109社

狭い(ニッチ)分野に特化することで、他社にまねのできない独創的かつ高度な技術を持つもの

...金型、金属、繊維分野など 90社

地域資源を活用して、または、地域経済を支えながら内外の市場で高く評価される製品を作るもの

...陶磁器、工具など 30社  
モノ作り技術を核に意匠やデザインにより新しい市場を開拓しているもの  
...機械加工、家具など 17社

## 事業分野別内訳

工場で製品を生産する機械 47社  
製品の品質を検査する機械 20社  
医療現場で使用する機械 9社  
上記以外の機械 1社

自動車部品	23社
電子部品等	29社
各種工業用部品等（自動車以外）	32社
工具、測定器等	10社
樹脂、塗料等各種素材	28社
切削、研磨、めっき	22社
鋳物、プレス加工、鍛造、熱処理、溶接	30社
金型	6社
繊維	13社
窯業・建材	14社
その他・最終消費財	16社

### 地域別内訳

モノ作り産業の活発な地域に多く存在

- ・大阪府（26）、愛知県（22）、東京都（21）
- ・神奈川県（15）、埼玉県（15）、北海道（14）

世界規模の市場において高いシェアを有する製品を製造している企業、国内市場を中心に高いシェアを持つ製品を製造している企業の例

精密加工部品の製造（山梨県大月市）

デジカメ、デジカム等の特殊精密ギヤードモーター（変速機付モーター）の国内シェア30%、OA機器用精密金属歯車の世界シェア35%。

超精密機械加工部品、超精密小物成型部品、それらを組み合わせたユニット品を得意とする。

携帯電話液晶用バックパネルの製造

（鳥取県鳥取市）

液晶画面を固定するバックパネルの世界シェア10%。構造部品の薄型化と高密度実装に対応した複雑形状加工で、携帯電話の小型軽量化、高機能化に貢献。

金型の機構部分を上下、左右、回転の3方向に動かす3軸プレス加工により、通常0.2mmの平面加工精度に対し、0.05mmの精度を誇る。

自動車用ガラス研磨機の製造

（徳島県徳島市）

世界6カ国で特許を有する自動車用ガラス研磨機で世界シェア60%、国内シェア80%。

従来2台で行っていた切断、研磨の工程を1台でこなす「自動車用窓ガラスの切断・研磨機」は加工の短時間化とモデル変更への対応の迅速化を可能にした。

狭い（ニッチ）分野に特化することで、他社にまねのできない独創的かつ高度な技術を持つ企業の例

オリンピック選手が愛用する砲丸の製造

（埼玉県富士見市）

ソウル五輪から公式採用された砲丸は、多くの選手から愛用され、アトランタ五輪から3大会連続で、金・銀・銅メダルを独占。

砲丸の重心は少しでもずれていると飛距離に1~2mの差が出ると言われていたが、ひとつひとつ手作業により、削っているときの音、手に伝わる圧力、削り終えたときのツヤなどを総合的に判断する匠の技で、正確な重心を出している。

#### 超精密成形平面研削盤の製造

(京都府城陽市)

超精密加工や高能率加工を行うための工作機械になくてはならない、手作業で1 $\mu$ m単位の精度を持つ平面を削り出す匠の技「キサゲ摺り合わせ」を守り続ける。

金型製作や超硬・セラミックなどの難削材加工に欠かせない「超精密成形平面研削盤」を開発。世界に類を見ない追従・復元精度( $\pm 0.001$ mmを10年保証)を誇る。

地域資源を活用して、または地域経済に貢献しながら内外の市場で評価される製品を作る企業、意匠やデザインにより新規市場を開拓している企業の例

欧州で高い評価を受ける和鉄ポットの製造(山形県山形市)

創業400年の伝統的な和鉄鑄造技術を持つ老舗が、現代の消費者ニーズにマッチする商品を生み出すため、世界最高峰の工業デザイナーとのコラボレーションにより、新たなデザイン発想を職人技術により製品化することに成功。

微妙に変化する複雑な丸い形は、伝統的ななせる技であり、完成度の高いデザインとなっている。

欧州を中心に高い評価を得ている。

ノーベル賞晩餐会で使われる高級洋食器の製造(新潟県燕市)

洋食器製造で培った研磨技術とデザイン力で1991年ノーベル賞授賞式の晩餐会のカトラリー(ナイフ・フォーク等の金属食器)セットを製作。

プロのカトラリーデザイナーではなく、陶芸家、彫刻家等と契約。テーブル、椅子、皿、グラスなどとのトータルコーディネートによるデザインにこだわり、世界でブランドを確立した。

#### お問い合わせ先

中小企業庁経営支援部技術課  
電話：03・3501・1816(直通)